



関東各地で夏休みの木育イベント 埼玉県の木工の里 ときがわ、小川、寄居は同日開催 建材メーカーも省エネイベント 今年11月は埼玉で全国育樹祭

ふれあいフェスタ

埼玉県寄居町では、「第8回木とのふれあいフェスタ」を開催。サイモクホームのプレカット工場で開催される今や恒例となった木工教室のイベントで、酒井材木店の津久井社長によると、寄居町の地元材木店の仲間が集まって共同開催している。

今年は寄居市の補助金も出て町の商工会の主催で開催。11月には第37回全国育樹祭が開催され、寄居町に皇太子が行幸されることから、全国育樹祭のための木製プランター作りも開催。その他、丸太切りコンテストやかんなくず宝探しゲーム、模擬上棟式、間伐材積木タワーコンテスト、各種模擬店、フードコーナー、住宅なんでも相談会など、工場の敷地内を活用した盛りだくさんのイベントが開催された。

木工教室はセルフサービスで、サ

ンプルとして配布されるマニュアルをもとに、マガジンラック、本立て、テーブルを作成したり、子供が遊び用に作られたピンボールセットを作ってみようと、腕をふるって組み立てる姿が見られた。

丸太切りコンテストでは、子供数人、大人数人で丸太切りに挑戦。うまく切れた子には景品が配られた。この他にもボランティアのNPOも参加。埼玉県木材サポータークラブによる木工品の販売や、ひょうたんアートクラブ(群馬県伊勢崎市)も参加。手作りひょうたんの彩色を無償で提供した。

木工まつりに150人

埼玉県小川町の小川木材建具工業協同組合では、恒例の木工まつりを8月23日に開催。4回目となる今年は150名の親子連れが参加。夏休みの終わりを前にした子供たちが集ま

って、ペン立てやミニ本棚などの宿題の木工作品を作ったり、イスやを製作する姿が見られた。

開催当日に行われたアンケートによると初めての参加は約3分の1、残りの3分の2はリピーターで、子供が低学年から高学年に成長するのに合わせて毎年訪れる家族連れが多く見られた。はじめて参加する母親とおばあちゃんの一家は、木をどうやって組み立てたら良いのか相談しながらスタッフに手伝ってもらったり、今年で3度目になるという親子は、息子がカキ氷を食べて休憩している間に、父親がプロ顔負けの長椅子を作る姿も見られた。

基本的には金槌、釘、のこぎりを使って組み立てるが、丸のこ機なども陳列。丸のこ機は10名余りの組合員のプロが操作するが、糸のこ機は父親が操作して一緒に加工したり、プレーナーは子供一人で操作して板に



丸ノコ機械は組合員の建具屋・材木屋が操作（小川町）



糸ノコ機の操作とプレーナーかけは地元の子供が参加（小川町）



寄居町のサイモクホームのプレカット工場内で開催



「丸太切りコンテスト」で子供たちが活躍（寄居町）

丸みをつけたりと、加工機械をうまく使いこなす姿が見られた。

木工教室は小川木材建具工業協同組合の組合員が日頃、加工場で集め、ためておいた端材を材料としている。木工教室の完成品の記念写真は9月29日に開催する「木材・建具まつり」に際し、埼玉伝統工芸会館（小川町）で展示される。（開場時間は午前9時～午後3時）

今年の木材・建具まつりは伝統建具の販売だけでなく、プレカット躯体（3坪）の上棟式とミニキットハウスのオークション販売も行い、30組のフラダンスも披露されるなど盛大なイベントを計画している。

8月23日の木工まつりの同日には、木の椅子を作るイベント「踏み台で感じる ときがわの山の過去と未来」もときがわ町で開催された。

新宿で親子木工教室

リビングデザインセンターOZONEでは8月5日、小学生と保護者を対象とした親子木工教室を実施。東京建具協同組合（岡村宣勝理事長）の指導で筆箱製作体験を行った。

「東京建具協同組合によるワークショップ工作体験」と題するこの催しは、親子が協力して木材加工に挑戦し、木に親しむ体験型学習。今回の製作課題は木製の筆箱。野引で箱をフタと本体に分断し、本体の内側に受け材となる木片を接着。最後に棕の葉で全体を研磨し、胡桃の実を砕いて内部に含まれる油脂で塗装する内容だった。

品川でワークショップ

YKK APでは8月7日にYK

KAPショールーム品川で、「夏休み親子ワークショップ」を開催。今年のテーマは「小エネ（ローエネ）な家作り」ミニチュアハウス作りを通じて、効果的な通風の方法、採光、体感温度を下げる気化熱発生メカニズムなど、参加した20組40名の親子は夏を涼しく暮らす方法を学んだ。同社では2010年から同ワークショップを開催しており、紙やプラスチック材料をもとに、自分で作ったミニチュアハウスを使って、

- ①煙を利用した風の流れの検証
- ②温まった空気の逃がし方
- ③気化熱のメカニズムと体感

などを楽しく学ぶことができる。今年は外部専門講師が説明を行った。8月にはMADOショップでも同様にイベントを開催、ローエネの取り組みの浸透を図った。



「踏み台で感じる ときがわの山の過去と未来」同日開催



YKK APの品川ショールームで開催したイベント